

こんにちは赤ちゃん訪問だより

No.47 11月11日

大分市民児協 子育て支援部
大分市保健所 健康課



山の木々も色づき始め、紅葉の季節となりました。11月は『虐待防止推進月間』です。子育てサロンや訪問活動などで近所の子どもたちの態度に気を配っていきましょう。気がかりなことがあったら関係機関と連携を取りましょう。平成26年度の虐待防止標語は「ためらわず 知らせてつなぐ 命の輪」です。

子育て支援部より

赤ちゃん訪問に携わるようになって2年が経とうとしています。保健師さんをはじめ先輩方のおかげで軌道に乗り始めた時期からの活動なので、経験談として苦労話を聞くことはありましたが、私にとっての赤ちゃん訪問は、苦労のない楽しみな活動になっています。そして、最近では、「第1子の様子や少し大変な状況の家庭の情報なども知っていたら、役に立てるのではないかな？」と変な欲や正義感がむくむく湧いてくる自分もいます。

そんな折、赤ちゃん訪問や子育てサロンでお会いしたママさん達とばったり出会ったり、思いがけず声をかけられることが多くなってきました。

夜遅い時間に働いているママさんに出会った時は、初めて私を見た時に苦笑い、ばつが悪いのかな？と思いその日は「頑張っているね」と言葉を交わしました。その後は、子育てサロンに参加し、仲良しのママさん達と楽しそうに過ごしていました。そして、つい最近、地区の校区祭で賞品係のお手伝いをしている時、私の顔を見つけニコニコしながら近くに来てくれ、たわいのない会話をしました。

この出来事を通じて、地域の宝物を育てるのに、主任児童委員としての自覚は持ちつつも、お母さんやお子さん達の気持ちに寄り添いながら「何もなくてもそこにいて、気軽に話しかけられ相談できるおばちゃん」でありたいと思いました。

(城南校区主任児童委員 森島 陽子)

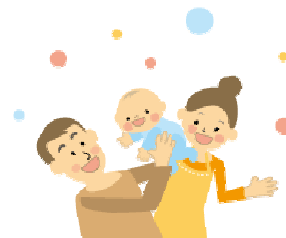
大分市保健所より

◆乳幼児突然死症候群（SIDS）をご存知ですか。

「乳幼児突然死症候群(SIDS)」は、それまで元気だった赤ちゃんが、眠っている間に突然死亡してしまう病気です。生後2か月から6か月に多いとされています。原因はまだわかっていませんが、以下のことに留意することで発症リスクが低下すると言われています。

<SIDS から赤ちゃんを守るための3つのポイント>

- ☆ うつぶせ寝は避ける
- ☆ たばこはやめる（両親や身近な人の協力が必要です）
- ☆ できるだけ母乳で育てる



◆こんにちは赤ちゃん訪問事業の平成25年度実績についてお知らせします。

対象：平成25年4月～平成26年3月生まれ

対象児数 (人)	訪問件数(人)				訪問 実施率
	主任児童委員	看護師	助産師	保健師	
4,603	322	1,203	1,224	1,579	94.0%

次世代を担う子供とその家族を、みんなで見守り支えていきましょう！